



BY1397

お客様各位

2305

株式会社オービックビジネスコンサルタント

令和4年1月施行「改正電子帳簿保存法」への対応

このたびは、弊社『証憑保管クラウド for 奉行シリーズ』をご購入いただき、誠にありがとうございます。

令和4年1月施行「改正電子帳簿保存法」に対応するためには、以下のバージョンの『勘定奉行 11/10』シリーズ、『蔵奉行 11/10』をセットアップする必要があります。

■勘定奉行

- ・奉行 11 シリーズ : Ver. 4.07 以降
- ・奉行 10 シリーズ : Ver. 3.37 以降

■蔵奉行

- ・奉行 11 シリーズ : Ver. 4.04 以降
- ・奉行 10 シリーズ : Ver. 3.16 以降

＜バージョンを確認する方法＞

『勘定奉行 11/10』シリーズ、『蔵奉行 11/10』のメニュー画面右上の  をクリックし、[バージョン情報]メニューで上記のバージョンが表示されていれば、最新プログラムをセットアップ済みです。

上記のバージョンになっていない場合は、「奉行 i メニュー」または「奉行 Net サービス」のプログラムダウンロードサイトから最新プログラムをダウンロードしてセットアップしてください。

for 奉行 11/10 シリーズ

 奉行 給与明細電子化クラウド

 奉行 勤怠管理クラウド

 奉行 身上異動届出クラウド

 奉行 仕訳入力クラウド

証憑保管 for 奉行シリーズ

起動するまでの手順書

目次

全体的な流れ	P.2
1 ユーザー登録とライセンスキーの確認	P.4
2 サービス利用情報の登録	P.7
3 『奉行製品』との接続	P.11
4 「導入ガイド」等のダウンロード	P.13

※『証憑保管 for 奉行シリーズ』は、**4** は必要ありません。



BZ0121

全体的な流れ

1 ユーザー登録とライセンスキーの確認 P. 4

「登録番号カード」を用意し、弊社サポートサイト（奉行 Net サービス）から、ユーザー情報を登録します。



以下のメールが送られてきます。

【件名】【OBC】ライセンスキー発行、および製品・サービス利用に関するご案内

《重要！》

複数の『奉行クラウド Edge（OBC i D利用）』または、『奉行クラウド Edge（OBC i D利用）』と『奉行クラウド』は、同じ環境（同じ「OBC i D」）で利用できます。

そのため、すでに『奉行クラウド Edge（OBC i D利用）』または『奉行クラウド』をご利用いただいているかどうかで、以降の手順が異なります。

※『奉行クラウド Edge（OBC i D利用）』は、以下のサービスが該当します。

- ・『奉行 Edge 給与明細電子化クラウド』 ・『奉行 Edge 勤怠管理クラウド』
- ・『奉行 Edge 身上異動届出クラウド』 ・『奉行 Edge 労務管理電子化クラウド』
- ・『奉行 Edge 労務管理クラウド』
- ・『奉行 Edge 仕訳入力クラウド』 ・『証憑保管 for 奉行シリーズ』

（『奉行クラウド Edge』でも、『奉行 Edge マイナンバークラウド』『奉行 Edge 年末調整申告書クラウド』『奉行 Edge ストレスチェッククラウド』『奉行 Edge 人材情報化クラウド』『奉行 Edge 人材育成クラウド』『奉行 Edge 目標管理クラウド』については、「OBC i D」は使用しないため、上記には該当しません。）

右の **2** へ進む

2 サービス利用情報の登録 P. 7

※ **2** の手順は、すでに『奉行クラウド Edge（OBC i D利用）』または『奉行クラウド』をご利用か否かで異なります。（詳細は P. 7）

手順を間違えると、後から法人データを一元管理できません。

ご不明な場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

『奉行クラウド Edge（OBC i D利用）』
または『奉行クラウド』を・・・

はじめてご利用の方 P. 8

メールアドレスを入力します。



以下のメールが送られてきます。



【件名】
【OBC i D】サービス利用
情報を登録してください



法人名および、「登録番号」と
「ライセンスキー」を入力します。



以下のメールが送られてきます。



【件名】
【OBC i D】導入処理を
はじめてください



すでにご利用の方 P. 10

ご利用の『奉行クラウド Edge
（OBC i D利用）』を起動して、
ライセンスを追加します。



※すでにご利用の『奉行クラウド Edge
（OBC i D利用）』と同じ法人データ
を一元管理できます。

（ただし、『奉行 Edge 仕訳入力クラウド』
の場合は、必ず新しい法人データが作成
され、別の法人データとして管理されます。）



以下のメールが送られてきます。



【件名】
【OBC i D】導入処理を
はじめてください



3 『奉行製品』との接続

P. 11

当サービスにログインします。



『奉行製品』をセットアップします。

※すでにセットアップされている場合は、不要です。

※『奉行製品』がセットアップされているコンピュータから
インターネット接続する際に、プロキシサーバーを利用している場合は、
P. 14 もご参照ください。



サービスで接続情報をコピーし、『奉行製品』で貼り付けます。

4 「導入ガイド」等のダウンロード

P. 13

※『証憑保管 for 奉行シリーズ』は、4 は必要ありません。

⑤

トップページ > 奉行オンラインサービス > ユーザー情報登録・変更 > ユーザー登録

ユーザー登録

製品登録番号の確認 > 利用規約 > ユーザー情報の入力 > 最終確認 > 完了

(?) HELP 情報
お手持の機器(会社名、住所、担当情報等)の入力を省略できます。
以前にご登録済みのお客様情報を利用して、新機に製品のユーザー登録を行う場合は、登録済み製品番号と電話番号を入力し、「製品情報の読み込み」ボタンをクリックしてください。

製品登録番号 (半角数字)

電話番号 (半角数字「+」や「-」は付けず、半角数字で入力してください)

製品情報の読み込み

電話発信地 ※「+」や「-」は付けず、半角数字で入力してください。

FAX番号 ※「+」や「-」は付けず、半角数字で入力してください。

2製品目以降の場合は、ユーザー登録済み製品の「製品登録番号」と「電話番号」を入力し、「製品情報の読み込み」ボタンをクリックすると、お客様情報（会社名等）の入力を省略できます。

OBC membership support & service情報

OBC membership support & serviceは、奉行シリーズを「安心」かつ「満足」して使い続けていただくためのサービスです。

OMSSコード (例) FQZ5EC051000001

OMSS確認番号 (例) 1D

OMSSコード ※

OMSS確認番号 ※ (例) 1D

システム会社名 ※利用している会社名をご記入ください。

入力してクリック

確認する

確認番号は、サービスによっては「登録番号」用と「OMSSコード」用の2種類の記載がある場合があります。ここでは、「登録番号カード」に記載されている「OMSSコード」用の確認番号を入力します。

⑥

トップページ > 奉行オンラインサービス > ユーザー情報登録・変更 > ユーザー登録最終確認

ユーザー登録

製品登録番号の確認 > 利用規約 > ユーザー情報の入力 > 最終確認 > 完了

ユーザー情報

以下の情報で登録を行います。

製品名	
製品登録番号	
会社名	
会社名カナ	
部署名	
担当名	
担当名カナ	
郵便番号	
都道府県	
市区町村	
番地	
ビル名	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
メールアドレス2	
ご購入販売店	
ご使用のプリンタ	
拠点数	

OBC membership support & service情報

以下の情報で登録を行います。

OMSSコード	
OMSS確認番号	
期間	

以下の情報で登録を行います。

部署(所属)種別	選択してください
役職種別	選択してください
業種	選択してください
従業員数	選択してください
資本金	選択してください
決算月	--月
結算支給日	--日
購入動機	選択してください
奉行導入以前の業務ソフト	
導入後・予定の業務ソフト	
カスタマイズ	選択してください
システム会社名	
通信欄	

確認してクリック

登録する

※『奉行 Edge 勤怠管理クラウド』をご契約の場合で、『就業奉行』が同梱されている場合は、「OMSSコード」と「OMSS確認番号」の入力は不要です。

※ご契約いただいたサービスによっては、表示内容が多少異なる場合がございます。

⑦

はじめての方 > よくあるお問い合わせ(FAQ) > 奉行オンラインサービス > 奉行支援サービス

トップページ > 奉行オンラインサービス > ユーザー情報登録・変更 > ユーザー登録完了

ユーザー登録

製品登録番号の確認 > 利用規約 > ユーザー情報の入力 > 最終確認 > 完了

ご登録ありがとうございます。
ユーザー登録情報や各種お問い合わせ先および、以下に表示のライセンスキーをメールでお送りしております。
24時間以内にメールが届かない場合は、info@obcnet.jpまでご連絡ください。

製品登録番号

ライセンスキー

※表示されているライセンスキーは、製品の環境構築設定時にご入力が必要となります。

続けて他の製品のユーザー登録を行う場合は以下より行ってください。

続けてユーザー登録を行う

⑧

⑥で登録したメールアドレスに、以下のメールが送られてきます。

件名「【OBC】ライセンスキー発行、および製品・サービス利用に関するご案内」

OBCユーザー管理室 <info@obcnet.jp>

件名: 【OBC】ライセンスキー発行、および製品・サービス利用に関するご案内

■ ライセンスキーのご案内

ご利用製品のライセンスキーが発行されました。
製品の導入設定時にご入力が必要となります。

◆製品名 : 奉行 Edge 勤怠管理クラウド

◆製品登録番号 : 0123456789

◆ライセンスキー : 0123456789 ABCDE

以下の URL からサービス利用情報の登録をしてください。
<https://id.obc.jp/Apply>

詳しい手順につきましては、【起動するまでの手順書】の「2.サービス利用情報の登録」以降をご確認ください。

■ OMSS 会員 ID 番号のご案内

特典やサービスを受けるために必要な OMSS (OBC メンバーシップサービス) 会員 ID 番号が発行されました。
サポートセンターへお問い合わせの際は、以下の ID 番号が必要となります。

◆ID 番号 : 0123456789

「登録番号」と「ライセンスキー」が記載されています。
この後の手順で使用します。

<重要！>
ID 番号は弊社サポートセンターにお問い合わせいただく際に必要です。このメールを保管するか、または ID 番号を控えておいてください。
ユーザー登録が完了した後に不明な点がある場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

次ページの「**2** サービス利用情報の登録」の手順は、
すでに『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』または
『奉行クラウド』をご利用いただいているかで手順が異なります。

<注>手順を間違えると、後から法人データを一元管理できません。

ご不明な場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

次ページの **2** へ進みます。

2 サービス利用情報の登録

ご利用状況に応じて、選択してください。

<https://id.obc.jp/Apply>

インターネットで、こちらへアクセス

『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』または『奉行クラウド』を…

※『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』は、以下のサービスが該当します。

- ・『奉行 Edge 給与明細電子化クラウド』 ・『奉行 Edge 勤怠管理クラウド』 ・『奉行 Edge 身上異動届出クラウド』
- ・『奉行 Edge 労務管理電子化クラウド』 ・『奉行 Edge 労務管理クラウド』
- ・『奉行 Edge 仕訳入力クラウド』 ・『証憑保管 for 奉行シリーズ』

(『奉行クラウド Edge』でも、『奉行 Edge マイナंबरクラウド』『奉行 Edge 年末調整申告書クラウド』『奉行 Edge ストレスチェッククラウド』『奉行 Edge 人材情報化クラウド』『奉行 Edge 人材育成クラウド』『奉行 Edge 目標管理クラウド』については、「OBC i D」は使用しないため、上記には該当しません。)

はじめてご利用の方

『奉行クラウド』へようこそ

すでに『奉行クラウド』をご利用中のお客様

奉行クラウド
奉行クラウド Edge

すでに『奉行クラウド』をご利用中のお客様は、[進む] ボタンをクリックしてください。

進む

はじめて『奉行クラウド』をご利用になるお客様

はじめて『奉行クラウド』をご利用になるお客様は、[進む] ボタンをクリックしてください。

進む

すでにご利用の方

例えば、『勤定奉行クラウド』を利用中に『奉行 Edge 勤怠管理クラウド』を購入した際に、別の「OBC i D」で管理したい場合など、今まで利用していた『奉行クラウド Edge』や『奉行クラウド』とは、別のクラウド環境で利用したい場合は、次ページの「■ はじめてご利用の方」の手順を行ってください。
ただし、後から法人データを一元管理できませんので、ご注意ください。

P. 10 へ

次ページへ

■ はじめてご利用の方

①

『奉行クラウド』へようこそ

すでに『奉行クラウド』をご利用中のお客様

奉行クラウド
奉行クラウドEdge

すでに『奉行クラウド』をご利用中のお客様は、【進む】ボタンをクリックしてください。

進む

はじめて『奉行クラウド』をご利用になるお客様

はじめて『奉行クラウド』をご利用になるお客様は、【進む】ボタンをクリックしてください。

進む

下側の「進む」を
クリック

クリック

②

メールアドレスの入力

STEP 1 メールアドレスの入力 STEP 2 サービス利用情報の入力

入力したメールアドレスに、サービス利用情報を登録するURLを入力してください。

メールアドレス

送信 戻る

※メールアドレスは、導入した後で「管理ポータル」の[利用者]メニューで変更できます。

③

入力したメールアドレスに、以下のメールが送られてきます。

件名「【OBC i D】サービス利用情報を登録してください」

OBC i D <no-reply@obc.jp>

【OBC i D】サービス利用情報を登録してください

宛先 株式会社 (kobe@obc.jp)

以下のURLにアクセスして、サービス利用情報を登録してください。

<https://○○○○○○○○○○○○○○>

【注意】
URLの有効期限は、1時間（2024/08/28 12:00:00 まで）です。
有効期限を過ぎた場合は、お手数ですが再度「メールアドレスの入力」からやりなおしてください。

本アドレスは送信専用です。
返信いただいてもお答えできませんので、ご注意ください。

ここをクリック

④

サービス利用情報の入力

STEP 1 メールアドレスの入力 STEP 2 サービス利用情報の入力 STEP 3 サービス利用情報の確認 STEP 4 サービス利用環境の確認

法人情報

法人番号 後で入力する場合は、「9 0000 0000 0000」を入力

法人名

法人名カナ

ライセンス情報

サービス

登録番号

ライセンスキー

次へ

複数のサービスを利用する場合は
+ をクリック

P. 5の⑧のメールに記載
されている登録番号と
ライセンスキーを入力

⑤

サービス利用情報の確認

STEP 1 メールアドレスの入力 STEP 2 サービス利用情報の入力 STEP 3 サービス利用情報の確認 STEP 4 サービス利用環境の構築

以下の内容でサービス利用情報を登録し、環境を構築します。
登録はまだ完了していません。
内容をご確認のうえ、[実行]ボタンをクリックしてください。

法人情報	
法人番号	9 0000 0000 0000
法人名	O B C 商事株式会社
法人名カナ	オービシーショウジカブシキカイシャ

ライセンス情報	
サービス	奉行Edge 画面管理クラウド
登録番号	0000000000000000
ライセンスキー	0000000000000000

利用者情報	
サービス	奉行Edge 画面管理クラウド
O B C i D	Admin
氏名	システム管理者
メールアドレス	test@edgecloud.co.jp

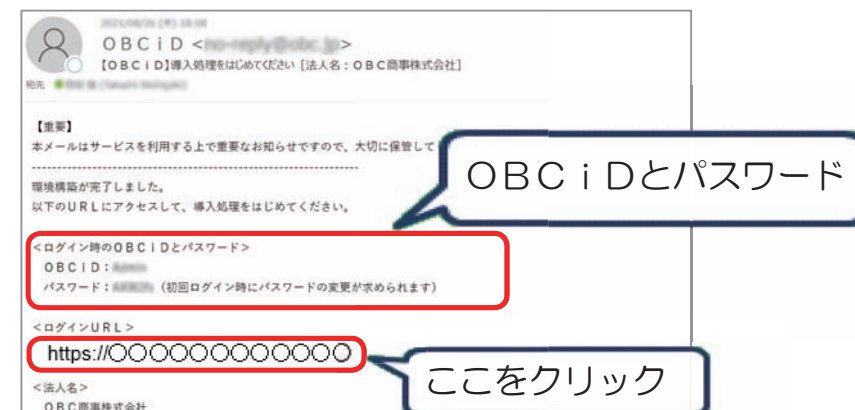
実行 戻る

クリック

⑥

続いて、以下のメールが送られてきます。

件名「【O B C i D】導入処理をはじめてください」



注 意

上記のメールに記載されている URL は、今後も当サービスを起動する際に使用します。大切に保管し、今後システム管理者が代わる際は、新しいシステム管理者に上記のメールの URL をお伝えください。

⑦

統合業務プラットフォーム
奉行クラウド

OBC i D

パスワード

O B C i Dとパスワードを入力して、→をクリック

⑧

サービスが起動します。



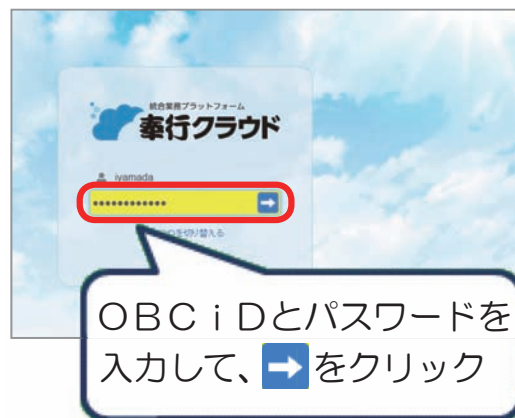
以上で、「■ はじめてご利用の方」の 2 の作業は完了です。

続いて、『奉行製品』との接続が必要です。

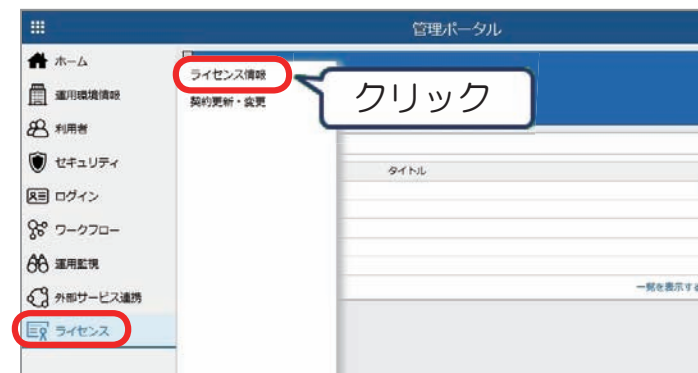
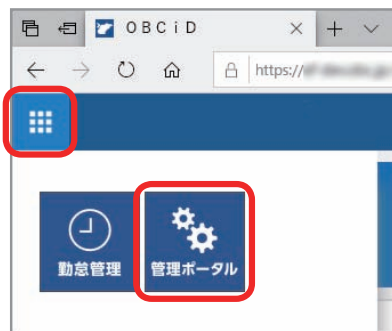
P.11 の 3 へ進みます。

■ すでにご利用の方

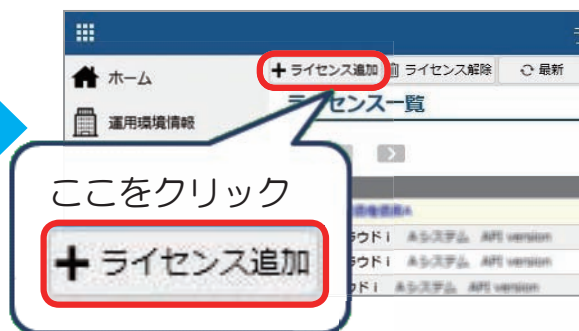
- ① 『管理ポータル』を利用できるユーザーで、ご利用中の『奉行クラウド Edge』にログインします。
- ② 『管理ポータル』を起動します。
- ③ [ライセンス]-[ライセンス情報]メニューを選択します。



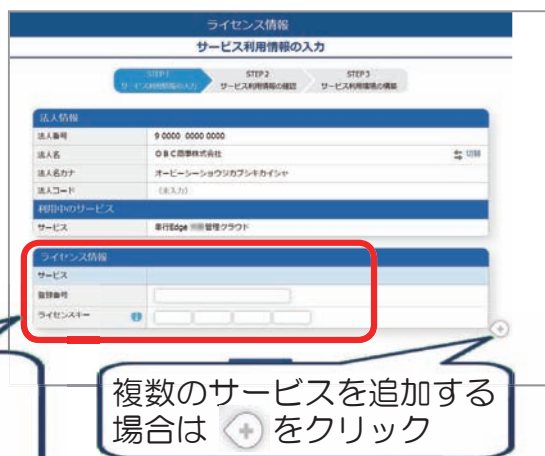
※[ライセンス]-[ライセンス情報]メニューのメニュー権限があるユーザーでログインしてください。



- ④ 「ライセンス追加」をクリックします。



- ⑤ ライセンス情報を入力し、[次へ]をクリックします。



- ⑥ 「実行」をクリックします。以下のメールが送られてきます。

件名「【OBCiD】導入処理をはじめてください」



※メールに記載されている URL は、今後も当サービスを開始する際に使用します。大切に保管し、今後システム管理者が代わる際は、新しいシステム管理者に上記のメールの URL をお伝えください。

以上で、「■ すでにご利用の方」の ② の作業は完了です。

続いて、『奉行製品』との接続が必要です。

次ページへ進みます。

※『奉行 Edge 仕訳入力クラウド』の場合は、次に表示される「STEP 2」で法人情報を入力します。

3 『奉行製品』との接続

連携する『奉行製品』をセットアップしていない場合は、セットアップして、データ領域を作成してください。

※手順は『奉行製品』の「セットアップマニュアル」と「ガイドブック」をご参照ください。

※『奉行製品』がセットアップされているコンピュータからインターネット接続する際に、プロキシサーバーを利用している場合は、奉行製品と接続する前に必要な設定があります。先に P.14 「補足：プロキシサーバーをご利用の方へ」の設定を確認してください。

＜『証憑保管 for 奉行シリーズ』の場合に、『奉行製品』側で事前に必要な設定＞

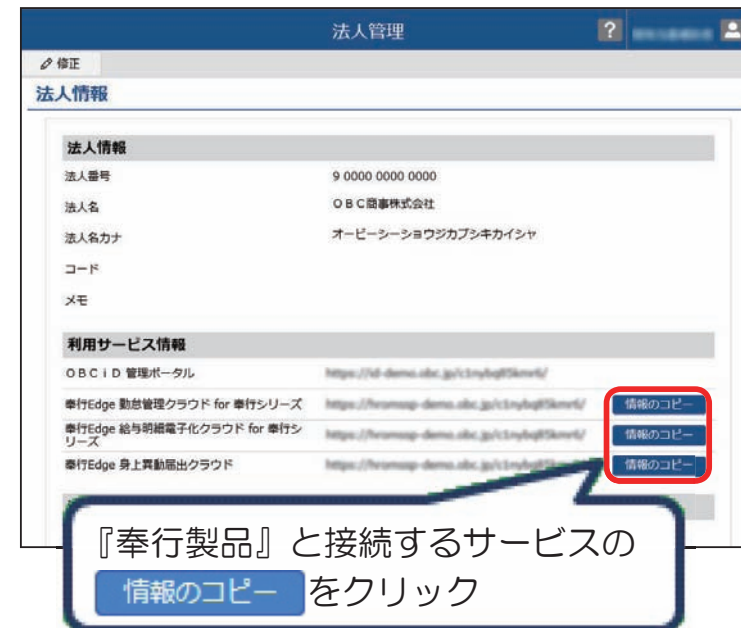
■『勘定奉行』シリーズの場合

[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニューの[基本設定]ページで、電子証憑の保存を「2：クラウド（証憑保管）」に設定します。

■『蔵奉行』の場合

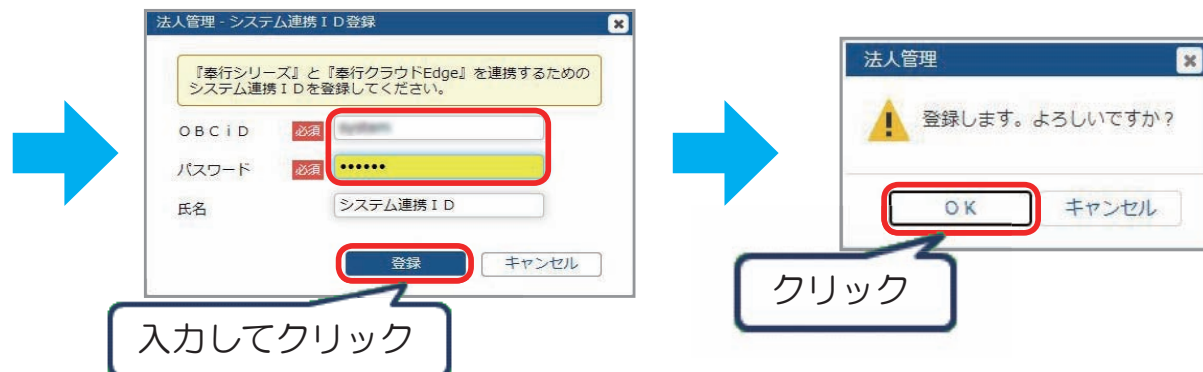
[導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニューの【管理設定】-[電子証憑設定]ページで、証憑保管の利用の「証憑保管を利用する」にチェックを付けます。

① [運用環境情報]-[法人管理]メニューを開きます。



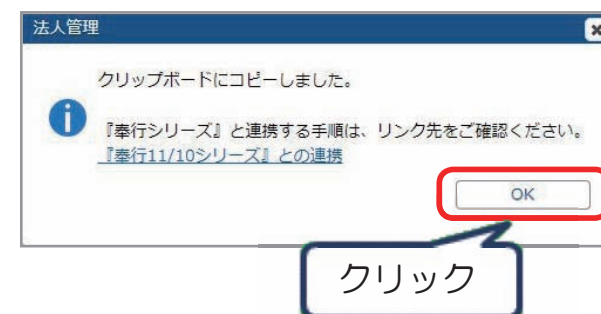
② 任意の「システム連携ID」を入力します。

※「システム連携ID」は、『奉行製品』と連携するためのIDです。管理者用のIDとは別に、任意のIDを用意してください。



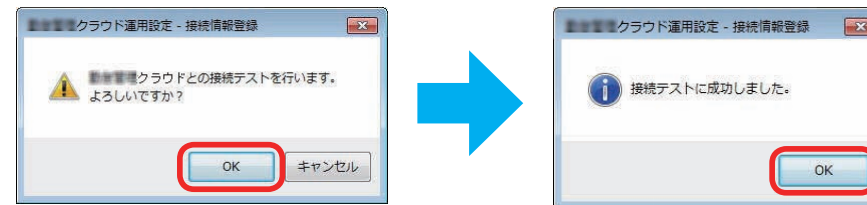
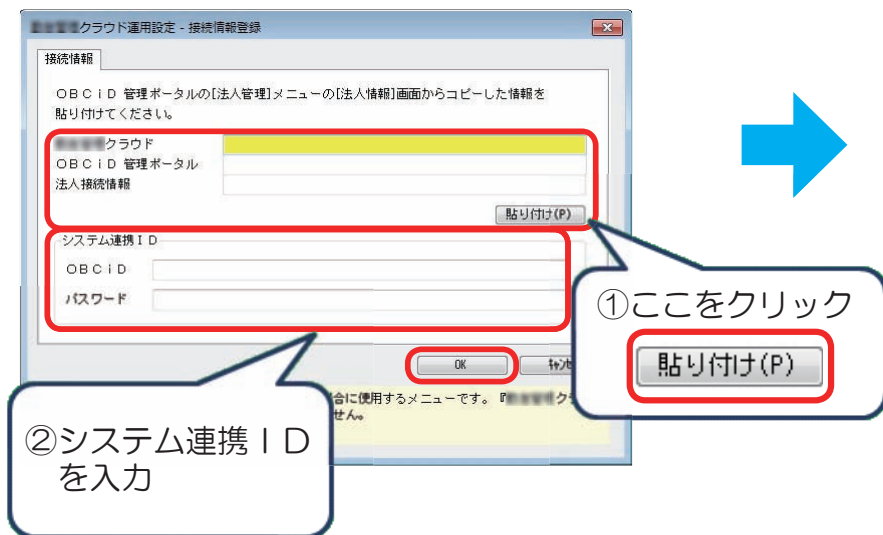
※上記画面が表示されない場合は、③へ進みます。

③



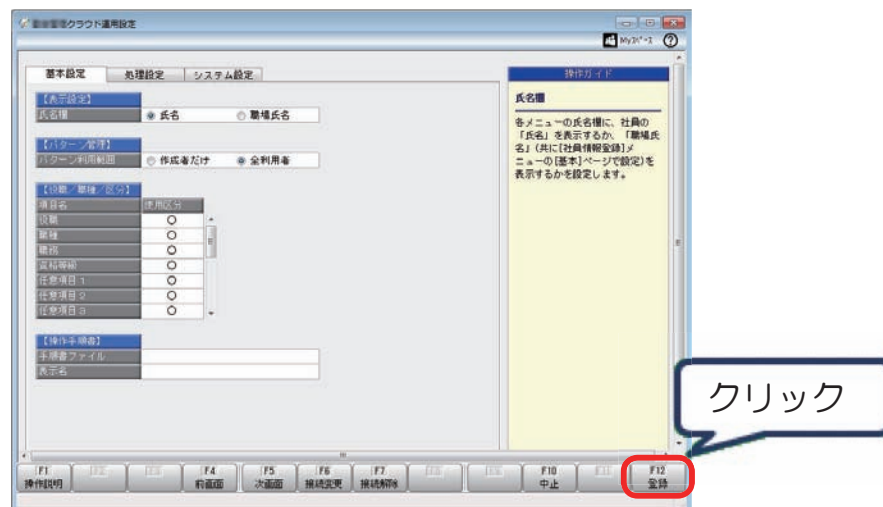
④『奉行製品』で以下のメニューを選択します。

- 『奉行 Edge 給与明細電子化クラウド』：『給与奉行』の[導入処理]-[運用設定]-[給与明細電子化クラウド運用設定]メニュー
- 『奉行 Edge 勤怠管理クラウド』：『就業奉行』の[導入処理]-[勤怠管理クラウド運用設定]-[勤怠管理クラウド運用設定]メニュー
- 『奉行 Edge 身上異動届出クラウド』：『人事奉行』の[導入処理]-[運用設定]-[身上異動届出クラウド運用設定]-[身上異動届出クラウド運用設定]メニュー
- 『奉行 Edge 仕訳入力クラウド』：『勘定奉行』シリーズの[導入処理]-[運用設定]-[仕訳入力クラウド連携設定]メニュー
- 『証憑保管 for 奉行シリーズ』：『勘定奉行』シリーズまたは『蔵奉行』の[導入処理]-[運用設定]-[証憑保管連携設定]メニュー



※『奉行 Edge 仕訳入力クラウド』の場合は、自動でマスターのアップロードが開始されます。
[マスターアップロード状況確認] 画面が表示されますので、すべてのマスターの実行状況が「完了」と表示されたら、サービスを利用できます。
(画面を閉じて、マスターのアップロードの処理は継続されます。)

⑤ 下記の画面が表示された場合は、必ず【登録】ボタンをクリックします。 ※『奉行 Edge 仕訳入力クラウド』『証憑保管 for 奉行シリーズ』の場合は、下記画面は表示されません。



以上で、「③『奉行製品』との接続」までの作業は完了です。

続いて、当サービスの導入作業に進みます。

ここからの作業は、奉行 Net サービスで当サービスの「導入ガイド」をダウンロードしてご確認ください。

「導入ガイド」のダウンロード方法は、次ページをご参照ください。

※『証憑保管 for 奉行シリーズ』は次ページ以降の作業は必要ありません。

4 「導入ガイド」等のダウンロード

※『証憑保管 for 奉行シリーズ』は「導入ガイド」等のマニュアルはありません。

続いて、当サービスのマニュアルをダウンロードしてください。

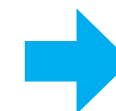
①

<https://www.obcnet.jp/docdl/>

インターネットで、
こちらへアクセス



②



登録番号と電話番号 <※>
を入力してクリック

<※>・登録番号は、当サービス（『奉行クラウド Edge』用）の登録番号です。
（連携する『奉行製品』の登録番号ではありません。）
・電話番号は、P. 5 の⑥で登録した番号です。

③ 「導入ガイド」等をクリックして、ダウンロードします。

※提供されるマニュアルは、ご契約いただいたサービスにより異なります。

※『奉行 Edge 仕訳入力クラウド』の場合は、「導入ガイド」をクリックすると、
Web ページが開きます。



導入手順を記載しています。

続いて、「導入ガイド」に記載されている手順にしたがって、
当サービスの導入を進めてください。

補足：プロキシサーバーをご利用の方へ

当サービスは、『奉行製品』とインターネットを介して接続しています。

プロキシサーバーをご利用の場合は、『奉行製品』から当サービスに接続する際に、あらかじめ『奉行製品』がセットアップされているコンピュータで、以下の設定が必要です。

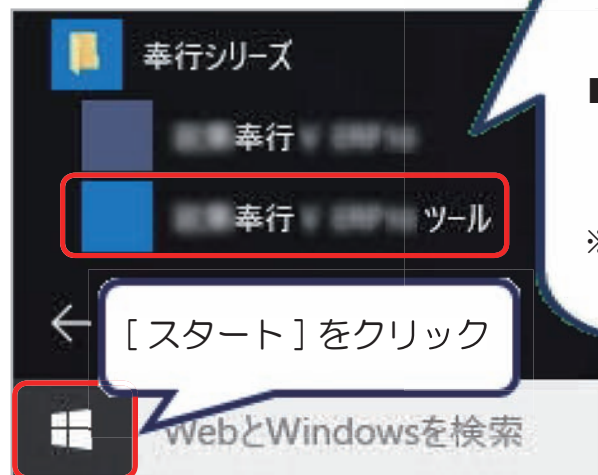
※プロキシサーバーを利用しているかは、ネットワーク管理者にご確認ください。

注意



当サービスと連携する『奉行製品』が「ネットワーク対応製品」の場合は、『奉行製品』のサーバー用コンピュータで設定します。

①



※画面はOSや製品により、多少異なります。

■スタンドアロン版の場合

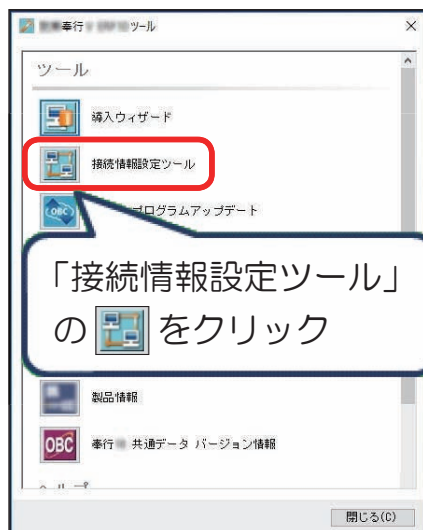
[奉行シリーズ]-[〇〇奉行ツール]

■ネットワーク版の場合

[奉行シリーズ]-[〇〇奉行
ネットワーク版 Server ツール]

※〇〇は、当サービスと連携する『奉行製品』です。

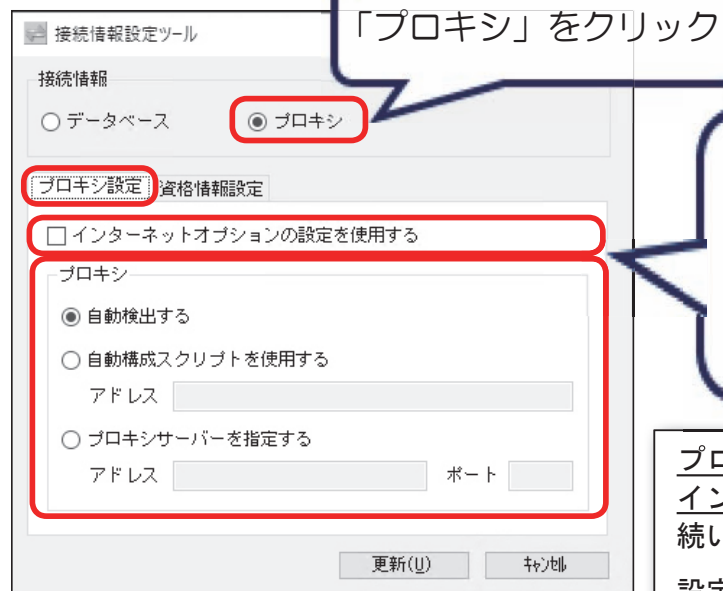
②



※画面は製品により、多少異なります。

※ユーザーアカウント制御のメッセージが表示された場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。

③



[プロキシ設定] ページで「インターネットオプションの設定を使用する」のチェックを外し、プロキシサーバーへ接続する方法を設定します。

プロキシサーバーで認証されたユーザーだけをインターネット通信できるように設定している場合は、続いて次ページへ進みます。

設定していない場合は、[更新] ボタンをクリックして設定作業が完了です。

プロキシサーバーで認証されたユーザーだけをインターネット通信できるように設定している場合

接続情報設定ツール

接続情報

☐ データベース ☒ プロキシ

プロキシ設定 資格情報設定

☒ 資格情報を設定する

資格情報

ユーザー名

パスワード

更新(U)

① [資格情報設定] ページを開き、「資格情報を設定する」にチェックを付けます。

② 「ユーザー名」と「パスワード」に、プロキシサーバーの認証に使うユーザー名とパスワードを入力します。

③ クリック

以上で、プロキシサーバーに関する設定の作業は完了です。

— 禁 無 断 転 載 —

2023年 5月 2日 第17版

著 者 株式会社オービックビジネスコンサルタント システム開発グループ
発行所 株式会社オービックビジネスコンサルタント 出版部

<https://www.obc.co.jp>

■ 落丁、乱丁がございましたら、お取りかえいたします。

